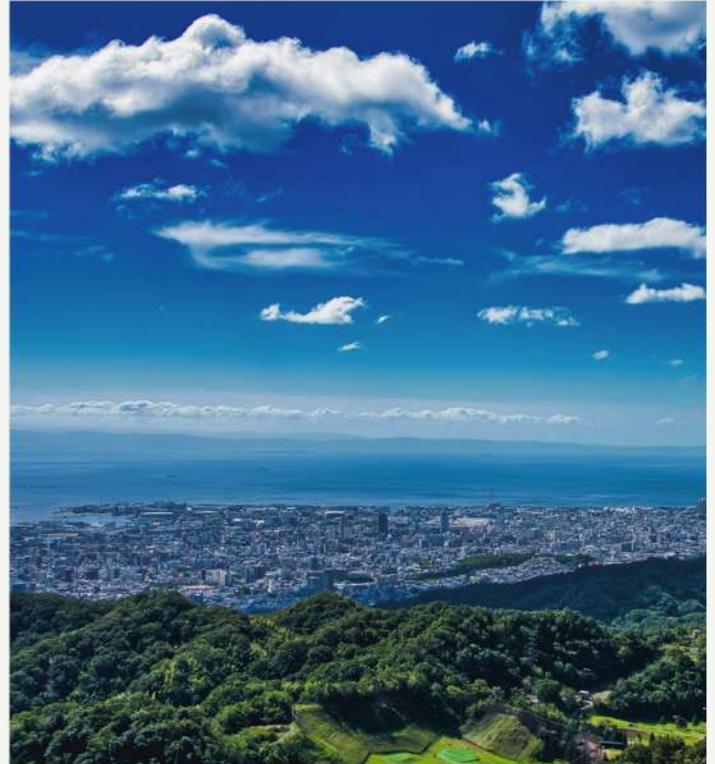


# はじめに

2026年4月1日より施行される新しい神戸の基本構想には、神戸の歴史に触れながら、「海と山に囲まれた美しいみなとまち」、「多彩な表情を見せるまち」、「人間らしいあたたかみのあるまち」という3つの神戸らしさが描かれるとともに、それらの神戸らしさを活かしてさらなる歩みを進めるにあたっての指針として、「時代を彩る産業とひとが育つまち」、「新たな価値の創造を実現するまち」、「それぞれの夢に挑戦できるまち」、「一人ひとりが幸せを感じられるまち」という未来に向けた神戸のありたい姿が描かれています。これら基本構想の理念を神戸のみちづくりにおいても実現していくことを目指し、このたび「神戸のみちづくり計画」を改定しました。



「神戸のみちづくり計画」は、上記の基本構想を含む「総合基本計画(マスタープラン)」の道路に関する部門別計画であり、社会情勢の変化や市民・利用者ニーズ、神戸の将来像などをふまえ、2035年の将来像を示す「みちづくりの指針」と、今後5年間重点的に取り組む「実行計画」を定めたものです。

このたび、「神戸市自転車活用推進計画」(2020年6月策定)についても改定を行い、「神戸のみちづくり計画」と統合し、同計画の「自転車編(自転車活用推進計画)」としてとりまとめました。「神戸市自転車活用推進計画」は、自転車の安全利用の観点だけでなく、近年の自転車利用ニーズの多様化による、観光、スポーツ、環境、健康などの視点を加えた自転車活用に関する総合的な計画です。

本計画において、みちづくりの指針や具体的な取り組み内容を示すことで、道路を利用される皆様と神戸のみちづくりの将来像を共有し、公民が連携しながら、次世代に引き継いでいく社会共創によるみちづくりを進めます。

